

【50歳からのハルメク世代に聞く なんでもランキング】

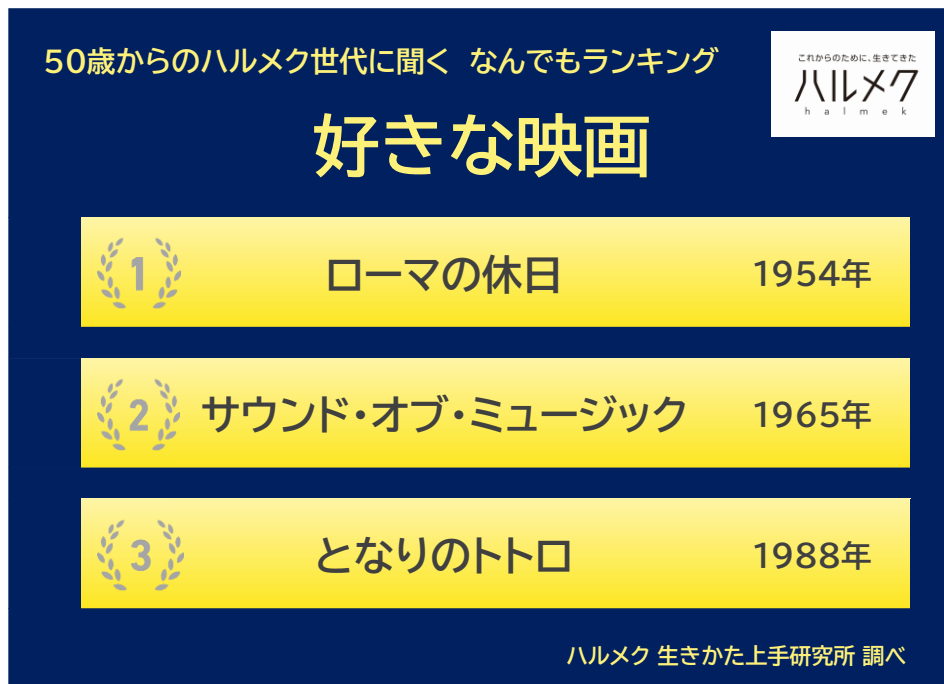
多くの出会いや別れを経験してきた

50歳以上の女性が選ぶ好きな映画ランキング1位は「ローマの休日」

半世紀以上経ってもオードリー・ヘップバーンの魅力は変わらず

女性誌販売部数 No.1 (※1) の雑誌「ハルメク」をグループで発行する株式会社ハルメクホールディングス（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：宮澤 孝夫）ハルメク 生きかた上手研究所は、50歳以上の女性（事前調査 513名、本調査 506名）へのアンケート結果をもとにした「50歳からのハルメク世代に聞く なんでもランキング」を公開しています。今回は「好きな映画」です。

(※1) 日本ABC協会発行社レポート(2023年1月～6月)



【調査概要】

事前調査と本調査に分けて調査を実施。事前調査では「好きな映画」を1名あたり3つまで自由記述で聴取りし、回答が多かった映画20作品を選抜した。本調査では20作品の映画についてそれぞれ7段階で評価を得た。

調査の方法：WEB アンケート

調査の対象：全国 50～85歳の女性

調査実施日：事前調査 2023年9月5日(火)～9月7日(木)

本調査 2023年9月22日(金)～9月25日(月)

回答者数：事前調査 513名 本調査 506名

※本調査は50代、60代、70代以上が均等になるよう再集計した。

本文中の回答者数は再集計後の人数。

調査主体：株式会社ハルメクホールディングス 生きかた上手研究所

【集計方法】

各映画の評価（7段階）に応じて配点し、ランキングを算出した。

[質問] 次の映画について、どの程度好きですか。

[配点] とても好き：100点、好き：85点、まあ好き：65点、どちらともいえない：50点、あまり好きではない：35点、好きではない：15点、全く好きではない：0点

なお、該当映画を「知らない」と回答した方は集計から除外している。

※調査主体の「株式会社ハルメクホールディングス 生きかた上手研究所」所長への取材、コメント提供も可能です。

※本リリース内容を掲載いただく際は、出典「ハルメク 生きかた上手研究所調べ」と明記をお願いいたします。

## 【 調査サマリ 】

### 1位 ローマの休日

好きな理由は「主人公が綺麗・かわいい、カッコいい」(72.1%)が最多で、20作品の中でも圧倒的に高かった。2位は「ロマンチックな気分になれる」、3位には「ストーリー展開が面白い」が入り、オードリー・ヘップバーンの魅力とストーリーに魅了された人が多かった。

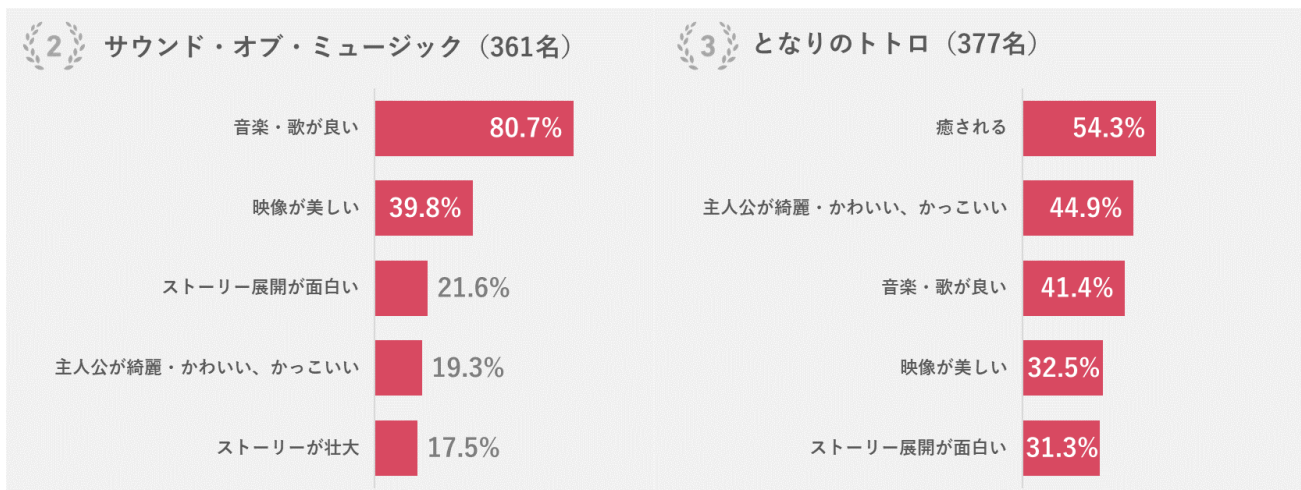
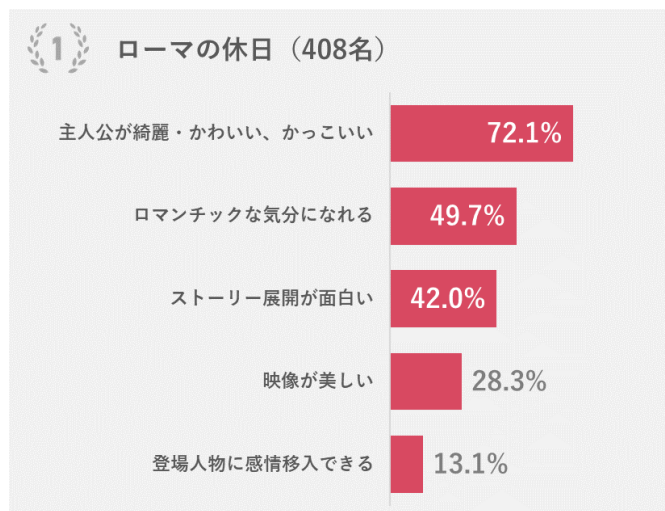
### 2位 サウンド・オブ・ミュージック

好きな理由1位は「音楽・歌が良い」(80.7%)。2位は「映像が美しい」、3位は「ストーリー展開が面白い」。ミュージカル映画では11位に「ボヘミアン・ラブソング」、14位に「ウエスト・サイド・ストーリー」が入った。

### 3位 となりのトトロ

好きな理由1位は「癒される」(54.3%)で、20作品のうち圧倒的に「癒される」の回答が多かった。2位は「主人公が綺麗・かわいい、カッコいい」、3位は「音楽・歌が良い」だった。特徴的なキャラクターと主題歌が魅力に感じられている。

## ■人におすすめしたい理由（ランキングTOP3の理由5位まで）



※括弧内の人数はそれぞれの映画について「とても好き」「好き」「まあ好き」を選んだ人数。

■好きな映画 TOP20 (50歳以上女性：506名)

	好きな映画	得点
1位	ローマの休日	80.8
2位	サウンド・オブ・ミュージック	76.5
3位	となりのトトロ	76.0
4位	風と共に去りぬ	75.5
5位	プリティ・ウーマン	74.5
6位	ショーシャンクの空に	74.2
7位	千と千尋の神隠し	74.1
8位	バック・トゥ・ザ・フューチャー(シリーズ)	73.5
9位	ひまわり	72.0
10位	ニュー・シネマ・パラダイス	70.9
11位	ボヘミアン・ラプソディ	70.8
12位	インディ・ジョーンズ	69.5
13位	トップガン(シリーズ)	68.3
14位	ウエスト・サイド・ストーリー	68.0
15位	E.T.	67.3
16位	ミッション:インポッシブル(シリーズ)	66.7
17位	タイタニック	65.8
18位	ロミオとジュリエット	64.1
19位	男はつらいよ(シリーズ)	62.5
20位	スター・ウォーズ(シリーズ)	57.8

■好きな映画について思うこと（本調査の自由回答を抜粋）

1位 ローマの休日

一番好きな映画はローマの休日です。なぜその映画が好きなのかももう分からなくなるほど。大学の卒業旅行でローマに行った時には、映画の舞台になった場所に1人で出かけて、思えばそれが自分の聖地巡礼の始まりでした。ハリウッドの超大作娯楽モノは、邦画とのスケールの違いが際立ち、恋愛映画は感情移入してしまいます。	59歳
ローマの休日のヘップバーンにかなう女優はいません。最高的一本だと思います。	67歳
「ローマの休日」は初めて観た洋画でした。オードリー・ヘップバーンのあまりの可愛さに魅了されました。	75歳

2位 サウンド・オブ・ミュージック

サウンド・オブ・ミュージックは小学生の時初めて観て修道院に憧れを感じ、将来シスターになりたいと思い教会に通ったことがあります。トラップ家の大きなお屋敷、オーストリアの壮大な景色に感動しその後今までに何回も見直した大好きな映画です。	65歳
サウンド・オブ・ミュージックは、大好きです。ミュージカルを初めて映画で観た事と、スイス、オーストリアの景色が素敵でした。ジュリー・アンドリュースの演技・歌も最高でした。	73歳

3位 となりのトトロ

思い出に残る映画は音楽も素晴らしいものが多いです。となりのトトロは曲を聴くだけで、一瞬で映画の世界に戻れます。	60歳
となりのトトロは親子3代にわたり楽しみました。	63歳

その他

学生時代に「風と共に去りぬ」を観て、友人と号泣したことを思い出しました。	65歳
「プリティ・ウーマン」のジュリア・ロバーツがキュートで好きです。コスチュームも素敵。いちごとシャンパンの組み合わせも学びました。高い階の部屋から地上へ降りるための「はしご」にもびっくり。	58歳
「ショーシャンクの空に」は30年近く前に思春期の息子と一緒に観て、久しぶりに息子といろんな話をしたことを思い出します。とても良い映画でした。	71歳
「バック・トゥ・ザ・フューチャー」。今は亡き主人と結婚前に観た懐かしい映画です。映画プラスその頃のことを思い出します。	60歳
「トップガン」は今年観ていつまでも頑張っているトムクルーズに感動。インディ・ジョーンズのハリソンフォードも同じで、ずっと応援したい。	70歳
コロナで映画館で観る機会が減りました。パソコンなどのネットでも観ることはできますが、やはり映画館の大きなスクリーンで音楽もサウンドトラックで、醍醐味を味わいながら鑑賞するのが一番楽しめますね。	64歳
昔の映画の方が見応えが有って、何十年経っても色あせないんだと改めて思った。	64歳

## 【専門家の見解】

ハルメク 生きかた上手研究所 所長 梅津 順江（うめづ ゆきえ）

2016年3月から現職。主に年間約900人のシニアを対象にインタビューや取材、ワークショップを実施



### 不朽の名作と長年接してきたからこそ、たどり着ける境地

平均年齢64.6歳（※本調査）のシニア女性が選ぶ映画TOP3は、「ローマの休日」「サウンド・オブ・ミュージック」「となりのトトロ」でした。

予想通りの結果ですが、感想を読むと、長く観ているからこそその境地を見出すことができました。

1つは、これまで経験してきた人生や思い出と重ね合わせて感動している様子がみられたこと。「小学生の時に観たサウンド・オブ・ミュージック。トラップ家の子供達がマリアに懐いていく過程や修道院のシスターに感動を覚えた」「ロッキー。夫と初めて一緒に観た映画なので、思い出として好き」「インディ・ジョーンズ。初めてみた時のハラハラドキドキワクワクは忘れられません。あの時一緒に観た彼はどうしているかな？最新作でハリソンフォードが年老いている姿を見て寂しくなりました」などが挙げられました。映画によって、自分の経験や歴史が刺激されるのでしょうか。普段は忘れていた記憶の扉みたいなものが映画を観た甘美な情景とともに、時にはリアルに、時には美化されて、開く様子がみられます。

1つは、何度も好きな映画を見返していること。その結果、「いつ観ても色褪せない感動を得られる」と「噛むほどに昔と味わいが変わる」という2つのアドバンテージを得ています。前者は「ET。可愛くて、泣けるし、今でも感動する」「となりのトトロ。子供が小さい時から何十回も観た。今でも心豊かにしてくれます」など。後者は「風と共に去りぬ。クラーク・ゲートルが好き!! みる年齢によって、感じ方が違ってくのがおもしろい」「東京物語。歳を重ねても、観る度に味わいが変わり新鮮」「マディソン郡の橋。若い頃は良い映画と思わなかったのに、年齢を重ねてから観たら美しく切なくて泣いてしまった」などの記述が見られました。

年をとると、涙もろくなるといいます。感情を抑制する脳のブレーキが緩みやすくなることもあるでしょうが、経験を重ねることで感情がより豊かになるからではないでしょうか。実社会で多くの出会いや別れを経験してきたであろう当該女性。疑似体験でも半世紀以上、多くの作品に触れ、迫力あるストーリーや世界観のなかに没入し、生きる勇気やヒントをもらって、人生に彩りを添えてきたのでしょうか。いくつになっても、繰り返し感動できる映画を観て、自分の人生と重ね、心震わせながら泣きたいものです。

### ■ハルメク 生きかた上手研究所のシニアリサーチデータは、「ハルメク シニアマーケティングLAB」で掲載しています。

「ハルメク シニアマーケティングLAB」は、ハルメク世代（シニア）を顧客とする企業にとって有益な情報をお届けしている情報サイトです。ハルメクグループが提供する定期購読誌や通販等を通じて得たマーケティングデータや記事、シンクタンク「ハルメク 生きかた上手研究所」の調査レポートなど豊富な情報が満載です。